

【報道関係各位】

2019年6月11日
日本酒造組合中央会

日本酒の業界団体が主催、堪能できる日本酒の数が世界最多のイベント 日本酒を味わい、知りつくす “日本酒フェア 2019”

◎2019年6月15日（土）10:00～19:00 池袋にて

◎セミナーには日本初外国人杜氏や日本酒 x マリアージュで知られるGEM by motoの千葉氏が登壇



【見どころ】

- 日本酒が一度に総勢約 **1,400** 種類飲めます。
この数は**世界最多!**
- 日本酒セミナーが例年の倍の数に。内容も**日本初外国人杜氏**や **GEM by moto** の千葉氏が登壇するなど盛りだくさん
- 今年から初めて **JAPAN SAKE WEEK** を同時開催。池袋の会場以外の場所、日にちでも各地方の日本酒が楽しめます



全国約 1,750 の蔵元が所属する日本酒の業界団体、日本酒造組合中央会（東京都港区：会長 篠原成行、以下：中央会）は、**6月15日（土）に東京・池袋サンシャインシティにおいて「日本酒フェア 2019～世界で一番日本酒が集まる日～」（以下、日本酒フェア 2019）を開催**いたします。

（URL：<http://sakefair.com/>）

ほぼすべての酒蔵がその年の造りを終える6月半ばに、日本酒造組合中央会が主催する唯一の一般向けのイベントとして毎年日本酒フェアを開催し、今年で13回目となります。**全国各地から日本酒がーか所に集まる規模としては、日本最大＝世界最大。**各都道府県の酒造組合が満を持して、その地域自慢の日本酒を持ち寄り、**その数は1000点を越えます。**

また、日本における唯一のお酒の研究機関『酒類総合研究所』とともに今年度の**全国新酒鑑評会の金賞**を含めた受賞酒約**400種類**もきき酒し、比べることができます。酒蔵にとっては全国新酒鑑評会に受賞するかどうかはその年の最大の懸念の一つと言っても過言ではなく、**アマチュアの日本酒通にとっても、市場に出回ることのない新酒鑑評会受賞酒を堪能できる貴重な機会**となっています。

さらに、今年は「日本酒を味わえるだけでは物足りない！」と日本酒造組合中央会が本腰を入れて日本酒に関する**セミナーを用意**。数を例年の倍に増やし、内容も**日本酒と料理のマリアージュで高い人気を誇る GEM by moto** の千葉麻里絵氏と日本酒造組合中央会理事の宇都宮仁氏のクロストークに加え、日本初の外国出身の杜氏として知られるフィリップ・ハーパー氏が英語のみの、主に日本酒に興味を持っている外国の方へ向けたセミナーを行うなど、バリエーション豊かなコンテンツを用意。

また、当日会場に来られない方のために、『**JAPAN SAKE WEEK**』と題し、14日（金）～22日（土）まで都内各所で各県の酒造組合主体の日本酒イベントも行われ、令和という新たな時代に突入し、日本酒のこれからを予測するうえで見逃せないイベントとなっています。



日本酒造組合中央会
JAPAN SAKE AND SHOCHU MAKERS ASSOCIATION

日本酒フェア 2019	
開催日時	2019年6月15日(土) 【第1部】10:00~13:30 (共通入場券の販売は12:00まで) 【第2部】15:30~19:00 (共通入場券の販売は18:00まで)
会場	池袋サンシャインシティ
主催	日本酒造組合中央会
公式HP	http://sakefair.com/
JAPAN SAKE WEEK	
開催日程	2019年6月14日(金) もしくは16日(日) ※各酒造組合の開催日時に準ずる
会場	都内各所
参加酒造組合	計9県酒造組合 ① 宮城県 ② 山口県 ③ 香川県 ④ 佐賀県 ⑤ 山形県 ⑥ 富山県 ⑦ 滋賀県 ⑧ 福島県 ⑨ 長野県
公式HP	http://sakefair.com/japansakeweek.html

■日本酒造組合中央会について

日本酒造組合中央会とは、酒類業組合などに関する法律に基づいた業界団体で、酒類業界の安定と健全な発展を目的とし、全国の約1,750の蔵元(清酒、本格焼酎・泡盛、本みりん)が所属しています。また、『國酒(こくしゅ)』といわれる日本酒、本格焼酎・泡盛、本みりんについて情報発信することで、国内外に幅広く認知を向上する活動に取り組んでいます。

◀報道関係者からの問い合わせ▶

日本酒造組合中央会 PR事務局(株式会社サニーサイドアップ内)

担当: 安藤(080-3579-5352)、藤岡(080-7949-6504)

TEL: 03-6894-3200 Mail: japansake@ssu.co.jp